

第6章 異常水質事故発生状況

I 概要

異常水質事故とは、公共用水域に汚水、廃液、油等が排出又は廃棄され、水質の著しい汚濁やそれらによる魚介類等への被害が発生することをいう。

異常水質事故の発生場所や原因等により関連部署は多岐にわたっており、本市では、平成30(2018)年4月に策定した「川崎市水質事故対応要領」*に基づき対応している。

* 平成6(1994)年度～平成29(2017)年度までは、「川崎市異常水質事故対策要領」

II 対象事故

環境局環境保全課で把握した魚死亡、油浮遊等の異常水質事故

III 発生状況

1 異常水質事故発生件数

(1) 種類別事故発生件

令和4(2022)年度に発生した異常水質事故は45件であった。前年度の45件と同数であった。異常水質事故の種類別では、油浮遊が19件と最も多く、着色水が2件、pH異常が3件、濁水が3件、地下浸透が7件、魚死亡が3件、その他の水質異常が8件であった。

(2) 水系別異常水質事故発生件数(表VI-1)

水系別では、東京湾で21件、多摩川水系で11件、鶴見川水系で13件の異常水質事故が発生した。

東京湾で発生した異常水質事故は、油浮遊が6件、濁水が1件、pH異常が3件、地下浸透が5件、その他の水質異常が6件であった。

多摩川水系で発生した異常水質事故は、魚死亡が3件、油浮遊が5件、着色水が1件、濁水が1件、その他の水質異常が1件であった。河川別では、多摩川本川で3件（魚死亡1件、油浮遊2件）、三沢川で2件（魚死亡1件、油浮遊1件）、旧三沢川が濁水で1件、平瀬川が油浮遊で1件、二ヶ領本川・用水で4件（魚死亡1件、油浮遊1件、着色水1件、その他の水質異常1件）であった。

鶴見川水系で発生した異常水質事故は、油浮遊が8件、着色水が1件、濁水が1件、地下浸透が2件、その他の水質異常が1件であった。河川別では、鶴見川本川が地下浸透で1件、矢上川で9件（油浮遊6件、着色水1件、濁水1件、地下浸透1件）、渋川が油浮遊で1件、真福寺川が油浮遊で1件、その他の河川でその他の水質異常1件であった。

表VI-1 水系別異常水質事故発生件数

水系	種類	魚死亡	油浮遊	着色水	濁水	pH異常	地下浸透	その他の水質異常	合計
東京湾	川崎港運河内		5			3	5	5	18
	川崎港運河外		1		1			1	3
	小計		6		1	3	5	6	21
多摩川	多摩川本川	1	2						3
	三沢川	1	1						2
	旧三沢川				1				1
	平瀬川		1						1
	二ヶ領本川・用水	1	1	1				1	4
	五反田川								
	登戸雨水幹線								
	山下川								
	六ヶ村堀雨水幹線								
	宮内雨水幹線								
	その他								
鶴見川	小計	3	5	1	1			1	11
	鶴見川本川						1		1
	矢上川		6	1	1		1		9
	有馬川								
	渋川		1						1
	麻生川								
	早野川								
	真福寺川		1						1
	片平川								
	江川								
合計	その他							1	1
	小計		8	1	1		2	1	13
合計		3	19	2	3	3	7	8	45

(3) 原因別異常水質事故発生件数(表VI-2)

原因者が判明した異常水質事故は28件で、工場・事業場によるものが22件、建設工事によるものが3件、船舶によるものが3件であった。

工場・事業場に起因する22件の異常水質事故(油浮遊3件、濁水3件、pH異常3件、地下浸透6件、その他の水質異常7件)の原因是、施設の破損が12件、作業ミスが4件、施設の管理不備が5件、原因不明が1件であった。建設工事に起因する3件の異常水質事故(魚死亡1件、着色水1件、地下浸透1件)の原因是、河川改修・管理が1件、他の工事が2件であった。また、船舶に起因する3件の異常水質事故(油浮遊3件)の原因是、施設の破損が2件、作業ミスが1件であった。

表VI-2 原因別異常水質事故発生件数

原因		種類	魚死亡	油浮遊	着色水	濁水	pH異常	地下浸透	その他の水質異常	合計
工場事業場	施設の破損			2		1	1	6	2	12
	作業ミス			1		2			1	4
	施設の管理不備						1		4	5
	火災消火									
	原因不明						1			1
	小計		3		3	3	3	6	7	22
建設工事	下水道工事									
	河川改修・管理									
	水道・ガス工事									
	建築工事									
	道路工事									
	その他の工事				1			1		2
船舶	小計			1				1		2
	施設の破損		2							2
	作業ミス		1							1
	施設の管理不備									
	原因不明									
	小計		3							3
その他										
原因不明		3	13	1					1	18
合計		3	19	2	3	3	3	7	8	45

2 異常水質事故発生状況の経年推移(平成6(1994)年度～令和4(2022)年度)

(1) 異常水質事故発生件数

平成6(1994)年度から令和4(2022)年度までの種類別異常水質事故発生件数を表VI-3に示す。

過去29年間の平均発生件数は39件/年であった。

表VI-3 種類別異常水質事故発生件数経年推移

年度 種類	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
魚死亡	3	3	4	12	1	0	3	3	1	1	0	0	2	2	0	4	5	4	4	3	3	0	1	3	2	0	0	2	3	69
油浮遊	13	11	13	24	15	11	18	11	14	20	11	21	20	19	21	14	10	14	19	25	17	23	17	14	16	12	19	14	19	475
着色水	3	5	6	8	3	4	9	1	5	6	7	5	27	12	18	38	26	8	21	16	14	18	15	12	14	7	11	9	2	330
濁水	1	2	0	0	3	4	6	5	4	4	1	5	4	7	8	14	4	1	2	2	5	8	4	3	3	5	2	2	3	112
pH異常	3	2	5	4	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	1	2	1	7	4	2	3	43
地下浸透	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	6	2	3	5	7	26
その他	1	1	2	2	1	1	0	1	4	1	0	0	1	2	3	1	7	2	3	4	2	5	3	5	2	6	11	8	80	
合計	24	24	30	50	25	20	38	21	25	35	21	32	53	41	49	73	46	36	48	50	44	52	43	38	47	35	45	45	1135	

(2) 水系別異常水質事故発生件数

平成6(1994)年度から令和4(2022)年度までの水系別異常水質事故発生件数を表VI-4に示す。

水系別発生件数は、海域では京浜運河(55件)、多摩川水系では平瀬川(243件)、鶴見川水系では矢上川(153件)が最も多かった。

表VI-4 水系別異常水質事故発生件数経年推移

水系	年度	合計																														
		1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022		
東京湾	川崎港運河外	1		4	1	1				3	1	2	3	4	3	2	1			2	1	3	1	1	2	1	1	3	41			
	末広運河				1				1		2				1				1	1				2	1	1	1	12				
	田辺運河	2	1	2	2				2	1	1				2	2	1		1	5	1	2	1			1			28			
	大師運河			1			1		1	1	1	3	1	4					1	1		2	2	2	2	6	3	1	5	38		
	京浜運河	2	2	2	3		4	2	1	4			3	1		2	1	1	1	3	4	3	4	1	4	1	2	2	2	55		
	千鳥運河				1				2			2				1			1	1	2	1	5	2		1	1	3	25			
	塩浜運河	1	3	1						1		1	1				4				1	1	2	1						18		
	池上運河	1		1					1	2		2			1						1									9		
	夜光運河	1																						3	1				5			
	水江運河		1												1							1			1	2	2	8				
	浅野運河			1					1	2	1		1			1			1										10			
	桜掘運河				1				2					2			1												7			
	南渡田運河					1						1	2									3	2	1	2	1	13					
	白石運河									1	2				1				1						1	2		1	9			
	川崎航路					1						1									1								4			
	境運河											1	1											1	2	1		6				
	多摩運河																1	1										1	4			
	小計	6	8	8	10	3	8	5	5	12	10	8	13	12	12	11	6	2	8	9	11	11	11	16	11	16	18	15	11	16	292	
多摩川	多摩川本川			3	2			1	5	2			1	5	5	5	7	2	1	4	2	2			2	5	2	5	3	64		
	三沢川	1	1	1	3		2	1	1	1				2	2	4	1	1	1	2	2					2		2	33			
	旧三沢川	1							1		1								1	2						1	1	1	9			
	平瀬川	5	4	9	7	5	5	1	4	2	6	5	6	23	8	16	34	14	10	11	11	11	15	5	4	6	3	5	7	1	243	
	二ヶ領本川・用水	6	6	2	8	3	2	5	5	1	2	4	4	3	3	3	1	3	3	2	2	3	5	5	2	2	2	1	4	92		
	五反田川	1			2	1	1	2	2			2	2	1		1	1	1	4	2	2	4	7	4	2	1	3		46			
	登戸雨水幹線	1		1	1					1																			4			
	山下川						2								1	1	1	1							1		1		8			
	六ヶ村堀雨水幹線				1		2								1			1										1	6			
	宮内雨水幹線			1			1								1													1	5			
鶴見川	その他			2			2	1					1											6	4	1	3	3	23			
	小計	13	12	13	25	15	8	17	14	9	13	10	13	30	19	27	48	27	17	21	22	22	26	18	18	17	9	16	23	11	533	
	鶴見川本川				1	1	1	1				1		1	3		1													10		
	矢上川	2	4	4	6	4	1	5	2		10	2	2	8	6	6	6	10	11	7	5	9	8	11	5	3	1	3	6	4	8	153
	有馬川			1	3		4		2	1		3		1	3			4	2		2	1	2	1					30			
	渋川	1		1	1		1		1							1													1	8		
	麻生川		1	3		1	1		1					2	3	2	4	2	3	2	2	1	1						2	32		
	早野川			1		1						1		1															5			
	真福寺川	1		1	1					1		1		1	1			1	2									1	1	12		
	片平川	1		1			1				1							1	1	2	1	2	2	1					15			
	江川				1		1																						3			
合計	その他						1											1	4		1				4	2	2	1	1	17		
	小計	5	4	9	15	7	4	15	2	4	12	3	6	11	10	11	19	17	11	18	17	11	15	9	8	8	6	11	6	11	285	
	地下浸透	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	2	3	5	7	25		
	合計	24	24	30	50	25	20	38	21	25	35	21	32	53	41	49	73	46	36	48	50	44	52	43	38	47	35	45	45	45	1135	

(3) 原因別水質事故発生件数

平成6(1994)年度から令和4(2022)年度までの原因別異常水質事故発生件数を表VI-5に示す。

原因不明の異常水質事故は過去29年間で平均22件/年であり、全体の56%となっている。

表VI-5 原因別異常水質事故発生件数経年推移

原因	年度																											合計		
	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	
施設の破損	1	6	2		1	2	1	2	2	1	1	2		1	1					1	2	3	2	1	9	11	4	9	12	77
作業ミス	6		3	5	2	5	7	1	2	6	4	6	5		2	2	4	1	3	1	3	4	2	5	7	6	3	4	99	
施設の管理不備		4	3	5	1		5	3	4	3	1	2	3	1	1	3		3	3	9	7	2	4	11	7	3	7	5	107	
火災消火			1	1										1						2					1	1			7	
原因不明																		1			1			1		4	1	1	9	
小計	7	10	9	11	4	7	13	6	8	10	6	10	8	3	2	5	2	8	4	13	13	8	10	15	21	22	21	21	22	299
下水道工事	1				1		1	1	1					2	1	2			1										1	12
河川改修・管理		1	1		3					1	1		1						2		1		1					1	1	13
水道・ガス工事									1						1	2			1									1		6
建築工事			1		1		2			1		3	1	2	3	5		2	2	3	2	1	1		2	1			33	
道路工事				1				1	1			1				2				1	2								9	
その他の工事													2	2				3	1								1	3	2	14
小計	1	1	2	1	5	0	3	2	3	2	1	4	4	6	5	11	0	5	5	6	5	1	1	1	2	1	2	5	2	87
施設の破損		1	1	3	1	2			1	3	2	1	2	1					1		1	2			1			2	25	
作業ミス		1			1	1			2			1			1		1	2	1		1	1						1	14	
施設の管理不備													1				1					1			2				5	
原因不明													1								1					2			4	
小計	0	2	1	3	2	3	0	0	3	3	2	2	4	1	0	1	1	1	2	2	0	3	4	0	0	3	2	0	3	48
その他	1	1	3	5	4	0	2	2	2	3	1	2	0	2	1	0	1	2	2	5	2	2	5	2	3	0	3	4	0	60
原因不明	15	10	15	30	10	10	20	11	9	17	11	14	37	29	41	56	42	20	35	24	24	38	23	20	21	9	17	15	18	641
合計	24	24	30	50	25	20	38	21	25	35	21	32	53	41	49	73	46	36	48	50	44	52	43	38	47	35	45	45	45	1135

3 異常水質事故発生状況一覧

令和4(2022)年度に発生した異常水質事故の発生状況の一覧を表VI-6に示す。

表IX-6 異常水質事故発生状況一覧

発生・受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する 措置 原因者の措置の 概要等
		水域名	派川名	場所等	魚死 亡	油浮遊	その他				
4/4 ・ 4/4	4/4	鶴見川	矢上川	宮前区 野川本町		○		① 調査 ② 回収等対策 ③ 工場等指導	判明 不明	矢上川の上野川橋付近で油が流れていると通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
4/15 ・ 4/15	4/15	多摩川	二ヶ領本川	多摩区 生田		○		① 環境局環境保全課 多摩区役所道路公園センター 消防局多摩消防署 ② なし ③ なし	判明 不明	二ヶ領本川台和橋付近から油膜が確認できるとの通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
4/26 ・ 4/26	4/26	東京湾	大師運河	川崎区 浮島町			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から排油回収配管から水混合油(油は主にナフサ)が漏洩したと連絡があった。土壤接触があったため、油と接触した箇所を拭き取り、さらに土壤改良剤を撒いた。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
5/24 ・ 5/24	5/24	多摩川	三沢川	多摩区 菅	○			① 環境局環境保全課 多摩区役所道路公園センター ② なし ③ なし	判明 不明	新三沢橋(昔 1-3-24)付近で魚が死んでいると通報があり現地調査を行ったが、死んでいる魚は確認できなかった。	
6/2 ・ 6/3	6/3	東京湾	大師運河	川崎区 浮島町		○		① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者からベンゼンが海に流出したと連絡があった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
6/3 ・ 6/3	6/3	多摩川	二ヶ領用水円筒分水下流	幸区 鹿島田	○			① 幸警察署 ② 幸区役所道路公園センター 環境局中原生活環境事業所 環境局堤根処理センター ③ なし	判明 不明	市民から水路で魚が死んでいると幸警察署に連絡があった。上流で工事をしている影響で水量が下がっていたため死んでしまったと思われる。幸区役所道路公園センターと中原生活環境事業所が4日間でコイとフナ計36匹を回収し、堤根処理センターへ搬入した。	

発生・受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者判明区分	事故概要及び措置概要(被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚死亡	油浮遊	その他				
6/8 ・ 6/8	6/8	多摩川	多摩川	川崎区殿町		○		① 調査 ② 回収等対策 ③ 工場等指導	判明 不明	環境総合研究所の職員から多摩川で油が流れていると連絡があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
6/21 ・ 6/21	6/22	多摩川	旧三沢川	多摩区菅仙谷			○	① 環境局環境保全課 環境局環境総合研究所 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	黒い水が流れてくると通報があり、現場調査を行った。原因是雨水貯留槽を清掃した際の水を雨水配管に流してしまったことによるもの。事業者に対し、再発防止に努めるよう指導した。	関係機関が指導を行った。
6/24 ・ 6/24	6/24	多摩川	六ヶ村堀雨水幹線	高津区北見方		○		① 環境局環境保全課 上下水道局下水道水質課 上下水道局中部下水道事務所 国土交通省京浜河川事務所 ② 上下水道局中部下水道事務所 ③ なし	判明 不明	京浜河川事務所から諫訪排水樋管から油が流れていると連絡があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。油は中部下水道事務所がオイルマット等で回収した。	
7/1 ・ 7/1	7/1	東京湾	京浜運河	川崎区扇町		○		① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 港湾局川崎港管理センター 海上保安庁 ② 消防局臨港消防署 ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	雑貨棧橋において、重油の給油船から本船に給油をしていたところ、本船上で油が漏れ、その油が海上に流出した。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
7/5 ・ 7/5	7/5	鶴見川	矢上川	宮前区野川本町		○		① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 宮前区役所道路公園センター ② 宮前区役所道路公園センター ③ なし	判明 不明	宮前区役所道路公園センターの職員が矢上川の水門から油が流入していることを確認した。油はオイルマットで回収した。現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
7/5 ・ 7/6	7/6	東京湾	末広運河	川崎区小島町			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者からりんを基準超過した状態で排水してしまったと連絡があった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
7/7 ・ 7/7	7/7	多摩川	平瀬川	宮前区菅生		○		① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 宮前区役所道路公園センター 上下水道局西部下水道事務所 消防局宮前消防署 ② 宮前区役所道路公園センター 消防局宮前消防署 ③ なし	判明 不明	平瀬川で油が流れていると通報があり、現地で確認したところ、油が浮遊している状況であったため、オイルマット等を使用し油を回収した。現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	

発生・受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者判明区分	事故概要及び措置概要(被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚死亡	油浮遊	その他				
7/13 ・ 7/13	7/13	東京湾	大師運河	川崎区浮島町		○		①調査 ②回収等対策 ③工場等指導	判明 不明	事業者から油を流出してしまったと連絡があった。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
7/13 ・ 7/14	7/14	東京湾	大師運河	川崎区浮島町			○	①環境局環境対策推進課 ②なし ①環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から窒素含有量を基準超過した状態で排水してしまったと連絡があった。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
7/16 ・ 7/16	7/16	鶴見川	矢上川	高津区久末		○		①環境局環境保全課 高津区役所道路公園センター 消防局高津消防署 ②なし ③なし	判明 不明	矢上川で油が浮いていると通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
7/13 ・ 7/19	7/19	東京湾	観音川	川崎区塩浜			○	①環境局環境対策推進課 ②なし ③環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者からりんを基準超過した状態で排水してしまったと連絡があった。原因是汚泥のりん含有率が高い状態での降雨に伴う負荷増大によるものだった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
7/25 ・ 7/25	7/25	東京湾	京浜運河	川崎区東扇島			○	①環境局環境対策推進課 ②なし ③環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から油で汚染された海水が貯蔵しているタンクから漏えいしたと連絡があった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
8/4 ・ 8/4	8/5	東京湾	白石運河	川崎区扇町			○	①環境局環境対策推進課 ②なし ③環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者からpHを基準超過した状態で排水してしまったと連絡があった。激しい降雨があった間に遮断装置から排水がオーバーフローしてしまった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
8/12 ・ 8/12	8/15	東京湾	川崎港	川崎区千鳥町		○		①環境局環境対策推進課 ②なし ③環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から油を流出してしまったと連絡があった。原因是タンクのバルブを閉め間違えによる漏洩だった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。

発生・受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者判明区分	事故概要及び措置概要(被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚死亡	油浮遊	その他				
9/12 ・ 9/12	9/12	多摩川	多摩川本川	川崎区港町	○			① 調査 ② 回収等対策 ③ 工場等指導	判明 不明	市民から魚が死んでいると通報があり、川崎区役所道路公園センターの職員がボラ約30匹を回収し、浮島処理センターに搬入した。	
9/24 ・ 9/24	9/24	東京湾	大師運河	川崎区浅野町			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者からナフサが貯蔵しているタンクの配管から漏えいしたと連絡があった。原因は配管の腐食によるものだった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
9/28 ・ 9/28	9/28	鶴見川	矢上川	中原区井田		○		① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 中原区役所道路公園センター 上下水道局加瀬水処理センター 消防局中原消防署 中原警察署 ② なし ③ なし	判明 不明	矢上川昭和橋で油が流れていると通報があった。現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
10/3 ・ 10/4	10/4	多摩川	二ヶ領用水	高津区二子			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 上下水道局下水道水質課 上下水道局中部下水道事務所 ② 上下水道局中部下水道事務所 ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	市民から下水汚泥が流出していると通報があった。圧送管から下水汚泥が漏れていたので、漏洩箇所の仕切弁を閉じ、圧送を停止した。上下水道局管路保全課に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
10/6 ・ 10/6	10/6	鶴見川	矢上川	中原区上小田中			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から油圧ホースが破損し漏れた油が土壤に浸透してしまったと連絡があった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
10/11 ・ 10/12	10/12	東京湾	大師運河	川崎区浮島町			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者からガスを冷却している海水が通るチューブに穴が開いてしまい、ガス成分が流出したと報告があった。原因是経年劣化等による破損と推測される。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
10/12 ・ 10/12	10/12	東京湾	観音川	川崎区塩浜			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者からりんを基準超過した状態で排水してしまったと連絡があった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。

発生・受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者判明区分	事故概要及び措置概要(被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚死亡	油浮遊	その他				
9/19 ・ 10/20	10/21	東京湾	多摩運河	川崎区浮島町			○	①調査 ②回収等対策 ③工場等指導	判明 不明	事業者から大雨の影響で、pH超過した水がそのまま排出されてしまったと連絡があった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
10/22 ・ 10/22	10/22	鶴見川	矢上川	高津区蟹ヶ谷			○	① 環境局環境保全課 消防局高津消防署 ② なし ③ なし	判明 不明	矢上川で油が浮いていると通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
11/9 ・ 11/9	11/9	東京湾	大師運河	川崎区千鳥町			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	係留中の船舶から油を流出してしまったと連絡があった。原因是老朽化による配管の破損だった。事業者がオイルフェンスを設置し油を回収した。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
11/30 ・ 11/30	11/30	多摩川	二ヶ領用水	高津区溝口			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 建設緑政局河川課 高津区役所道路公園センター ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	市民から白い水が流れていると通報があった。マンション改修工事で使用した着色剤が雨で流れてしまったことが原因だった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
11/30 ・ 11/30	11/30	鶴見川	黒須田川に流入する水路	麻生区王禅寺			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 麻生区役所道路公園センター ② なし ③ なし	判明 不明	市民から水路に泡が流れていると通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
12/13 ・ 12/13	12/13	東京湾	京浜運河	川崎区東扇島			○	① 環境局環境保全課 港湾局川崎港管理センター ② 港湾局川崎港管理センター ③ なし	判明 不明	港湾局の巡視船が海上で油が浮遊しているのを発見した。現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
12/19 ・ 12/19	12/19	鶴見川	鶴見川	川崎区駅前本町			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から工事中に作動油が流出したと連絡があった。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。

発生・受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者判明区分	事故概要及び措置概要(被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚死亡	油浮遊	その他				
1/12 ・ 1/12	1/12	鶴見川	矢上川	中原区 井田			○	① 調査 ② 回収等対策 ③ 工場等指導	判明 不明	市民から河川に濁水が流れていると通報があった。下水道管に約 50cm×90cm のベニヤ板とデッキプランが詰まってしまったことが原因だった。上記の異物がどこから入ってきたのかは不明。上下水道局管路保全課に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
2/1 ・ 2/1	2/1	東京湾	塩浜運河	川崎区 水江町			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から定期修理の際に軽油が漏洩してしまったと連絡があった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
2/4 ・ 2/4	2/6	東京湾	塩浜運河	川崎区 水江町			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から敷地内でガソリンが漏洩したと連絡があった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
2/21 ・ 2/21	2/22	鶴見川	矢上川	中原区 井田		○		① 神奈川県川崎治水センター ② なし ③ なし	判明 不明	市民から矢上川で油が浮いていると川崎治水センターに通報があった。川崎治水センターの職員が現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
3/5 ・ 3/5	3/6	多摩川	三沢川	多摩区 布田		○		① 環境局環境保全課 神奈川県川崎治水センター ② なし ③ なし	判明 不明	市民から三沢川の多摩川との合流地点の水門近くで少量の油が浮遊していると通報があった。現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
3/12 ・ 3/12	3/13	東京湾	南渡田運河	川崎区 扇町			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から pH を基準超過した状態で排水してしまったと連絡があった。事業者に対し、原因究明と再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
3/14 ・ 3/14	3/14	東京湾	観音川	川崎区 塩浜			○	① 環境局環境対策推進課 上下水道局下水道水質課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	隣の事業場から排水が流れてきており、白い固まりができると通報があった。水洗工程にある排水パイプが詰まりオーバーフロー水が流出したことが原因だった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。

発生・受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名 ①調査 ②回収等対策 ③工場等指導	原因者判明区分 判明 不明	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚死亡	油浮遊	その他				
3/15 ・ 3/17	3/17	東京湾	多摩川河口	川崎区浮島町			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から COD の排水基準を超過する濃度の排水が確認されたと連絡があった。事業者に対し、原因究明と再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
3/20 ・ 3/20	3/20	鶴見川	渋川	中原区木月大町		○		① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 ② なし ③ なし	判明 不明	市民から油のようなものが流れていると通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
3/23 ・ 3/23	3/23	鶴見川	矢上川	中原区井田		○		① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 上下水道局中部下水道事務所 神奈川県川崎治水センター 横浜市環境創造局管路保全課 ② なし ③ なし	判明 不明	市民から川に白い水が流れていると通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
3/29 ・ 3/29	3/29	鶴見川	真福寺川	麻生区下麻生		○		① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 麻生区役所道路公園センター ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	工事の警備員から川に油が流れていると連絡があった。原因是車の整備工場にて修理のため受け入れた車からオイルが漏れてしまったことによるものだった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
合計					3	19	23				